

ひまわり福祉会だより

発行所 社会福祉法人 ひまわり福祉会

令和5年1月

第37号

〒761-4122
小豆郡土庄町上庄463-2
TEL: 0879-62-4636
FAX: 0879-62-4650

URL: <http://www.himawari-olive.jp>

令和5年も新たな気持ちで頑張るぞ!!



みんなそろっての記念撮影 (ひまわりの家建物の前)



クリスマス会
(ひまわりの家食堂)



オリーブ収穫祭
(畝木オリーブ農園)



日帰りレクリエーション
(二十四の瞳映画村)

令和5年(2023年)の スタートにあたって

社会福祉法人ひまわり福祉会
理事長 岡 裕

昨年の世相を表す漢字が「戦」に決まった様に、「ひまわり福祉会」も令和4年はコロナ感染症との戦いに明け暮れた1年でした。

令和5年もこうした厳しい状況は続いていくと予想しています。

そうした中、小豆島で暮らす障害児・者には嬉しいニュースがあります。

一つは障害児を持つ親の念願だった、「小豆島みんなの支援学校」が今年4月に開校することです。池田小学校に隣接しています。今、障害児教育で話題のインクルーシブ教育の舞台が小豆島に誕生します。

もう一つはグループホームと短期入所の増設計画が具体的に動き始めたことです。「ひまわりの家」家族会の意見・要望を聞きながら、土庄町、小豆島町両町との連携で着々と計画が進んでいます。

当法人の基本理念「私たちは、小豆島で暮らす知的障害児・者が、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、障害福祉サービスの向上に努め、地域福祉の担い手として地域社会に貢献していきます。」を肝に銘じ、令和5年も頑張つて参ります。

小豆地域に念願の 「小豆島みんなの 支援学校」開校

令和5年4月に小豆地域に初となる特別支援学校が池田小学校に隣接する場所に設置されます。校名は「香川県立小豆島みんなの支援学校」で、本県9校目の県立特別支援学校となります。

本校は知的障害特別支援学校で、小学部・中学部を設置します。また、障害の状態により島外への通学が困難な高等部該当生徒の学びの機会を保障する場として、「香川県立香川中部養護学校高等部分教室」を校内に設置します。



住所
小豆郡小豆島町池田1789番地
小豆島みんなの支援学校開校準備室HP



なお、開校に向けた準備の様子などは、ホームページにて定期的に情報発信していますのでご覧いただければ幸いです。その中から、いくつかご紹介したいと思います。

校章デザイン

豊かな自然に恵まれた小豆島で子どもたちが自分らしくのびのびと学び、地域に親しまれる学校のシンボルとしてふさわしい校章デザインを一般募集したところ、全国から459点の応募がありました。選考の結果、香川県立高等技術学校デザイン科在籍の神宮千里氏の作品が最優秀賞に選ばれ、学校の校章として採用しました。また、小豆地域の子どもたちからも多くの作品が届きました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

デザインの説明

真ん中のオブジェクトは、右側が小豆島の「小」、全体でみんなの「み」という文字で構成。周りには、小豆島のオリーブのリースと熟した実を配し、学校や地域の人達との繋がりと子どもたちの成長を表した。また、リースの一部分を開けることで、枠にとどまらず、のびのびと自分らしく学ぶことのできる学校像を表現している。

校章



校訓

「なかよくのびのび かがやく」

校訓は、小豆島みんなの支援学校のめざす学校像を表し、地域と共に、子どもも学校も「なかよくのびのび かがやいていく」という願いを込めています。

標準服等

標準服及び体操服は、子どもにとって着脱しやすい、動きやすい等の機能的配慮や経済的配慮を大切に選定しました。小学部はイートン型で、中学部はブレザースタイルとし、どちらもジェンダーレス仕様となっています。

小学部（冬服）



中学部（冬服）



おわりに

令和2年度から本格的な工事がスタートしましたが、昨年12月、無事に校舎が竣工し、今後は植栽などの外構部分の整備が進んでいく予定です。今年度4月には、香川県教育委員会特別支援教育課内に、「小豆島みんなの支援学校開校準備室」が設置されました。準備室では、施設設備などのハード面だけでなく学校の教育方針や教育課程等のソフト面についても検討を重ね、開校に向けて計画的に準備を進めています。

開校後、小豆島みんなの支援学校には、学校での教育はもちろん、小豆地域における特別支援教育のセンター的機能を担うという大きな役割もあります。教育だけでなく福祉との連携は、自立や社会参加をめざす特別支援教育において大変重要なことです。

現在、ひまわり福祉会で福祉サービズを利用している子どもも多くいると聞いています。中には、今春、支援学校の門をくぐる子どももいるでしょう。本校は、在学中も含め、卒業後も地域と繋がりがもてる学校づくりをめざしています。今後とも学校の応援団の一員として関わっていただければ大変心強いです。どうぞよろしくお願いいたします。

（開校準備室室長補佐 三宅貴将）

障害福祉サービス事業所 ひまわりの家

生活介護事業

生活介護事業では、現在月二回音楽にふれあい楽しむ時間があります。利用者さんも毎回楽しみにしています。

新型コロナウイルスの流行により、音楽教室も長く不定期の開催となっていました。少しでも利用者さんの笑顔を見たいと、今年度は、まず新しく「音楽あそび」を、すくすく教室の渚保育士の指導のもとスタートさせました。音楽に合わせて声を出して、それぞれの自己表現を楽しんでもらうことを大切に実施しています。

従来の「音楽教室」も十一月より、新しく船津先生を迎え再開しました。船津先生は中学校で音楽を教え、特別支援学級にも関わりの深い方です。音楽に合わせて、歌い、体を動かし、音にふれながら楽しい時間を過ごしてほしいと取り組んでいます。心も体も元気になる音楽教室です。十二月からは長く歌われていなかった「ひまわりの家の歌」の練習も開始しました。船津先生のお母さんが作詞されたことです。中には知っている利用者さんもいらっしやっ



音楽教室



音楽あそび

てすぐ一緒に口ずさんでいました。二つの音楽にふれる時間のある日は利用者さんもわくわくです。先生を見るだけで歓声が上がリ、音楽が鳴り響くと思いいいにリズムを取り、楽器を鳴らし、歌います。まさにそれぞれの参加の仕方です。楽しんでいきます。「音楽あそび」では音楽ゲームに熱中したり、「音楽教室」では先生の歌にうっとりしたりもします。

今年度は納涼大会、日帰り旅行と規模は縮小しながらもいろいろな行事を再開しました。新しい年はもっと利用者さんの笑顔が見られる一年になればと願っています。

(生活支援員 廣瀬孝行)

就労継続支援B型事業

ひまわりの家の就労継続支援B型事業では、小豆島に住む軽度の障害のある方々に日中活動として働く場を提供しています。

仕事は、オリーブの栽培、果実の収穫、オリーブオイルの製造等の「オリーブ事業」が中心です。その他に、いろいろな企業や団体からご協力をいただき、「箱折り作業」、「空き缶回収作業」、「神社の清掃作業」等があり、個々の利用者さんの特性や能力に応じて作業に取り組んでもらっています。それらの作業を通して、利用者さんの工賃向上を図り、働く喜びを感じてもらって、社会的自立を目指しています。

近年、利用者さんの高齢化による身体能力や作業効率の低下が目立ってきています。また、気候変動や経済情勢の影響によるオリーブの収穫量の減少に伴うオリーブ事業の収益減少等が深刻化して、大きな課題になっています。

最近、「小豆島みんなの支援学校」の開校記念品として、香川県の特産品である和三盆のお菓子づくりの依頼を受けました。これを機に、ぜひ新たな作業を大きく展開して、今まで以上に利用者さんの自信ややる気が増えてくれることを期待しています。



フレトピアフェアに参加



オリーブ収穫風景

今後、利用者さん一人一人の特性を生かした働き方をもう一度見直して、意欲的に作業に取り組んでいただける環境を整えていくことが大切だと考えています。また、何としても中心となっている「オリーブ事業」における収益増加も目指して、利用者さんと職員がともに充実した毎日が送れるように頑張っていきますので、よろしくお願いします。

(生活支援員 井本博文)

障害児通所支援事業所 すくすく教室

すくすく教室では、乳幼児から十八歳までの発達が気になるお子さんや障害のあるお子さんを対象に一人一人の発達状態、障害の状態に応じて個別又は小集団で療育しています。特に、全ての職員が「少し頑張ったら出来る」を目標にして、明るく前向きに日々の療育に取り組んでいます。

すくすく教室には平日の午前中には就学前の児童が、午後からは小学生が通っています。

春には、新しい友達が加わり新しい環境に直ぐに馴染めないために、混乱して泣いたり怒ったりするお子さんが多くいます。私たち職員は、こんな時にはどうしたらその困難を乗り越えることができるか、また環境をどのように整えると過ごし易いかなどを常に考えて療育をしています。

また、多くの経験を一緒にトライすることによって、「できたね、すごいね、もう一回!」と小さな成功体験を積み重ね、自己肯定感を高めていきます。そして、お子さんのチャレンジする気持ちを引き出すことで、保護者さんも一緒に子育てを楽しんでもらって、共

に成長してほしいと願っています。今年の4月には、池田小学校の隣に香川県立「小豆島みんなの支援学校」が開校します。この学校は、特別支援学校に在籍している中・高校生の保護者さんが長年望んでいた念願の学校なのです。自宅から通える特別支援学校がいに誕生します。

すくすく教室に来ている児童がみんなと同じように毎日元気に通えるようになることを職員一同全力で応援していきます。



サ ッ プ

風が強かったけど楽しかったよ



島 内 遠 足

大きなやどかりとハイチーズ



寒霞溪ハイキング

紅雲亭から表十二景を見てから山頂まで歩きました



余島デイキャンプ

自分たちで作ったカレーは最高!!



放 課 後 預 か り

サーキットあそび

最後に、すくすく教室が取り組んでいる三つの事業を紹介します。

児童発達支援事業

(対象) 就学前

(サービス内容)

日常生活の基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応練習、家族に対する支援

放課後等デイサービス事業

(対象) 小、中、高校生

(サービス内容)

学校授業終了後又は休業日において、生活能力向上のために必要な指導、社会との交流の促進、余暇の提供

香川県療育等支援事業

(対象) 十八歳までの児童及び保護者

(サービス内容)

訪問療育等支援事業、外来療育等支援事業、施設支援事業、療育支援、療育に関する相談支援

(管理者 中谷多恵子)

共同生活援助事業所 グループホームソレイユ

二面の誓願寺に隣接するグループホームソレイユは、入居者五名と短期入所利用者一名が共同で生活をしている場です。

私はまだ勤続一年と経験も浅いですが、生活する上で介助や支援が必要な利用者さんがおられます。その中で、それぞれの方々の能力はまだまだ伸びるものと日々感じています。能力を伸ばしていくには時間がかかることもありますが、で、焦らずゆっくりと一歩ずつでも伸ばしていったらよいと思います。そのためには、職員自身がお一層利用者さんに寄り添っていくべきだと思っています。

利用者さんが心地よく生活でき、利用者さんと共に職員も進歩すべき事が大切だと考えています。また、地域に根差した事業所として活動していけるよう、全職員が努力していきますのでよろしくお願いします。

(生活支援員 下岡和美)

グループホームソレイユに世話人として勤務させていただき、はや一年が経とうとしています。ソレイユには、その名のとおりお日

様の光がいつばいに射し込む居室とリビングがあります。そこで五名の入居者と短期入所利用者一名の方が共に生活されています。ソレイユでは、利用者さんの状況に応じたサービスをさせていただくために、日々職員同士で話し合っ

て協議をしています。
ふとした瞬間に見せてくださる利用者さんの笑顔や優しい眼差しに、安堵感を覚え、心地良い時間が流れる時があります。こういった機会が増え、共に安心して暮らせるよう、また健全な生活を送っていただけますよう邁進させていただきます。

(世話人 日下正美)

短期入所サービス

当施設は、主に知的障害者を対象とした短期入所サービス(定員一名)も行っています。介護者の病気等で介護出来ない場合や介護者の休息等を目的に、障害のある方に短期間ご利用いただくサービスです。ご利用中は生活支援員が、入浴、排泄、食事等のほか、日常生活上の必要な支援を行っています。

詳細につきましては、

グループホームソレイユ

【☎ 75-2320】まで気軽に
ご連絡・ご相談ください。



二生公民館講座での制作活動
毎年完成度が高くなっています



ふれあいスポーツ大会
皆で楽しく参加しました。いい思い出になりました

コロナ禍での活動

令和4年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染との戦いの一年であったと言えます。8月までは、関係者に感染者が出て、施設内での感染拡大はなんとか防ぐことができていました。しかし、感染者が急拡大しました9月の第7波では、クラスター発生状況までになってしまい、何日も臨時休業をして多大なご迷惑をおかけしました。さらに、第8波でも、年末に前回以上の感染者を出すことになったことに心よりお詫びします。

このようなコロナ禍でも、利用者さんにはできるだけ楽しく活動してほしいと考え、利用者のみで開催できる行事は創意工夫をして実施することにしました。特に、5月の日帰り旅行、7月の納涼大会、12月のクリスマス会等では、満面笑顔の多くの利用者さんを見ることができ、全ての職員の喜びになりました。

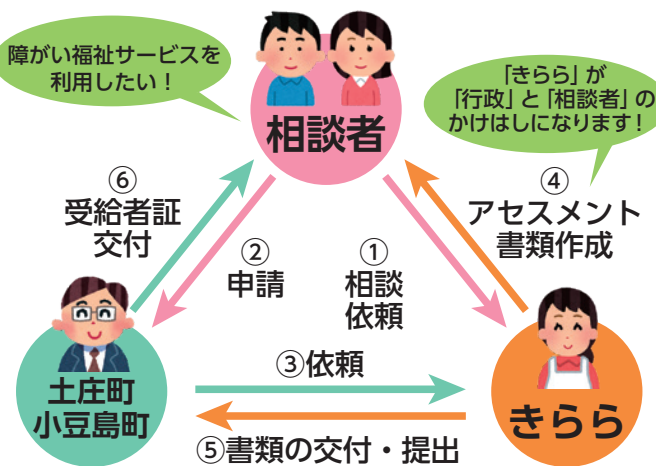
今後も、利用者さんが安心して楽しく通うことができる「ひまわりの家」を目指して、全職員が力を合わせて頑張りますので、よろしく願います。

(ひまわりの家管理者 橋本明彦)

相談支援事業所 きさら

きさらでは、障害のある人が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう福祉に関する各種の相談に応じて必要な情報の提供・助言・支援を行っています。

●計画相談支援・障害児相談支援
障害者の方、障害児の方が利用する福祉サービスの利用計画の作成を行っています。



利用計画作成時には、障害者支援の内容説明、情報収集・関連機関との連携等を行っています。また、その後に担当者会議やモニタリングも実施しています。

●福祉サービスご利用までの流れ

- ①相談及び福祉サービス利用申請
- ②障害支援区分認定
- ③計画案の作成・交付
- ④支給決定(受給者証の発行)
- ⑤サービス担当者会議
- ⑥本計画の作成・交付
- ⑦福祉サービス利用開始
- ⑧モニタリング
- ⑨変更及び更新申請

●地域移行支援

入所施設や精神科病棟からの退所・退院した方で日常生活に不安

がある方に対して、入所施設や精神科病院等の地域移行の取り組みと連携して地域移行に向けた支援を行っています。

●地域定着支援

入所施設や精神科病院等から退所・退院した方、一人暮らしの方、家族と同居しているが家族の支援を受けるのが難しい方などの地域生活が不安定な方に対して、地域生活を継続していくための支援を行っています。

●相談支援事業

障害者の福祉サービスや日常生活・社会生活における悩みのヒアリングを行っています。計画相談は福祉サービスの利用計画に関する相談に対して、こちらは通常の相談支援となり、主に障害者本人・家族・関係者からの相談に応じています。

小豆地域においては相談支援事業所が二箇所しかなく、最近福祉に繋がっていないために急な対応を要するケースもあります。緊急時の受け入れ、対応の体制の整備など、課題はたくさんありますが、誠意をもって取り組んでいます。

(相談支援専門員 谷口ふみ)

ひまわり福祉会役員・評議員

理事長 岡 裕
理事 橋本 明彦

理事 若山 朋子
理事 岡野 恵美子
理事 富田 忠孝
理事 石井 昌彦
理事 外山 洋文
理事 棟保 博

監事 松尾 峰生
(任期：令和三年六月十九日～令和五年六月の定時評議会終結まで)

評議員 三木 義雄
評議員 大谷 隆生
評議員 新茶 善昭
評議員 余島 邦昭
評議員 山口 真理子
評議員 川田 澄子

(任期：令和三年六月十九日～令和七年六月の定時評議会終結まで)

苦情解決委員会

苦情解決責任者 岡 裕
第三者委員 川井 和広
第三者委員 棟保 博
苦情受付窓口 古谷 三枝

職員紹介〔最も大切な自慢したい宝物〕



生活介護事業

ひまわりの家

〈管理者〉
橋本 明彦
小豆島の自然

〈サービス管理責任者〉
谷久 香里
娘が誕生してからの
記録ホームビデオ

〈看護職員〉
川中 いずみ
家族(孫)

〈看護職員〉
坂口 満可
デイサービスを利用して
人からもらった手芸品

〈生活支援員〉
中島 大
こころ

〈生活支援員〉
廣瀬 孝行
インコグニートのフルイに
手渡しでもらったギターピック

〈生活支援員〉
山下 大貴
家族・友人

〈生活支援員〉
小浦 嘉也
Money

〈生活支援員〉
池本 住代
時間

〈生活支援員〉
岡崎 照代
孫の動画と写真

〈生活支援員〉
城土 井 進
たくさん持っている
植物のうえきばち

〈生活支援員〉
三枝 篤史
家族

〈生活支援員〉
柏原 彩沙
趣味で使っている画材・
パソコン

〈生活支援員〉
寺岡 真実
家族

〈生活支援員〉
那須 美貴
家族



就労継続支援B型事業

〈サービス管理責任者〉
松本 淳二
愛猫

〈生活支援員〉
岡田 恵美
犬

〈保育士〉
渚 美奈
背番号11
サッカーユニフォーム・
NEW ERA キャンプ

〈保育士〉
島 本 瑞生
ホテルForest inn
BORNの料理

〈指導員〉
佐伯 美智子
キーケース

〈管理者〉
中谷 多恵子
お嫁さんから初めて
もらった母の日
プレゼントの
フラワーブーケ

〈保育士〉
砂子 さおり
柿の種

〈生活支援員〉
大川 晴美
加湿器

〈生活支援員〉
井本 博文
書物

〈職業指導員〉
田中 秀輝
車

〈職業指導員〉
伊丹 正行
ぼうし

〈職業指導員〉
森口 忠幸
家庭菜園の畑

〈目標工賃達成指導員〉
中村 政彦
さくらんぼの木



グループホーム ソレイユ

〈管理者〉
若山 朋子
健康

〈看護職員〉
堀川 チエノ
娘とソレイユの
利用者

〈生活支援員〉
大川 千賀子
家族と猫

〈生活支援員〉
壺井 千代美
家族

〈管理者〉
中森 健一郎
家族

〈相談支援専門員〉
濱脇 広子
「家族」

〈相談支援専門員〉
谷口 富美
何気ない日常

〈生活支援員〉
畑井 博
家族

〈生活支援員〉
下岡 和美
一日一日が大切!!

〈生活支援員〉
黒島 多賀子
家族

〈世話人〉
徳本 初恵
愛息子

〈世話人〉
吉元 豊美
家族(孫)

〈世話人〉
余島 千津枝
家族と孫

〈世話人〉
日下 正美
島の自然

きらら



貸借対照表

令和4年3月31日現在

社会福祉法人 ひまわり福祉会

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	72,057,358	流動負債	11,968,501
現金預金	46,767,148	事業未払金	11,427,205
事業未収金	24,592,601	職員預り金	343,946
商品・製品	588,734	仮受金	197,350
立替金	108,875		
固定資産	121,827,870	固定負債	6,186,151
基本財産	38,690,847	退職給付引当金	6,186,151
建物	37,690,847	負債の部合計	18,154,652
定期預金	1,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	83,137,023	基本金	71,238,348
土地	95,000	基本金	71,238,348
建物	746,513	国庫補助金等特別積立金	20,469,168
構築物	2,048,837	国庫補助金等特別積立金	20,469,168
機械及び装置	1,225,534	その他の積立金	65,000,000
車輛運搬具	3,771,154	その他の積立金	65,000,000
器具及び備品	3,809,634	次期繰越活動増減差額	19,023,060
ソフトウェア	223,200	次期繰越活動増減差額	19,023,060
電話加入権	31,000	(うち当期活動増減差額)	-10,226,467
その他の積立資産	65,000,000		
その他の固定資産	6,186,151	純資産の部合計	175,730,576
資産の部合計	193,885,228	負債及び純資産の部合計	193,885,228

※詳しい財務諸表は、ひまわり福祉会のホームページに掲載しています。

【ご 寄 付】 ありがとうございます

(令和4年1月1日～令和4年12月31日) (敬称略・順不同)

中 八 まる野 藤 香 社 ヤ 公 平 山 小 伊 早 国 ど 安 岡 広 富
村 木 お 島 本 川 会 マ 益 野 本 女 更 藤 川 方 め 西 野 瀬 田
良 正 ター チ 義 川 会 フ ト 財 団 紀 シ 性 護 雅 昭 カ り 正 恵 明 忠
弘 人 (株) コ 則 会 団 子 エ 会 子 枝 コ 会 二 子 子 孝

編 集 後 記

前号の36号から編集委員会を立ち上げ、伝統を残し、新しい視点をもって「ひまわり福祉会だより」の編集に取り組んでまいりました。37号は今までの編集方針を継承しつつ、5名の編集委員でさらに充実した「ひまわり福祉会だより」を目指しました。

今号の一番の変化は何といっても掲載写真をカラーにしたことです。利用者さんの表情、それぞれの事業所の活動の様子がより鮮明に分かっていただけるものと確信しております。

(編集委員 橋本・廣瀬・井本・中谷・谷口)

ありがとうございます！

赤い羽根の送迎車両

社会福祉法人 香川県共同募金会様より
ご寄付頂きました。

事業名 送迎用自動車整備事業(更新)
(リフト付)

購入物品 トヨタノア
車いすタイプ(8人乗り)

総事業費 ￥2,934,670

共同募金からの助成金 ￥1,500,000



利用者さん、みんなとても喜んでます！

ひまわりの家ホームページ
QRコード

